

“米軍は北富士に来るな！”

沖縄駐留米軍の北富士移転実弾演習反対！

現地抗議集会

日時 2021年4月19日（月）11：10
場所 北富士演習場・梨ヶ原廠舎入口ゲート前
主催 山梨護憲の集い実行委員会

次第 (11：10～11：30)

- 司会者あいさつ 山梨護憲の集い実行委員会事務局長
(社民党山梨県連合幹事長) 深澤 高行
- 開会のことば みどり山梨 代表 野澤今朝幸
- 主催者あいさつ 代表委員・山梨県平和センター代表 手塚 仁
代表委員・社民党山梨県連合代表 山田 厚
- 来賓あいさつ 静岡県平和・国民運動センター事務局長 鈴木 孝雄
- 抗議声明朗読・提出 山梨県平和センター事務局長 福井 太一
(山梨県教職員組合執行委員長)
- シュプレヒコール 自治労山梨県本部執行委員長 田中 好久
- 閉会のことば 新社会党山梨県本部執行委員長 丸山 和彦

米国による戦争訓練である

沖縄駐留米軍の北富士移転実弾演習に反対する抗議声明文

一九九七年七月から「沖縄の痛み分かち合い」を口実に行われている本土移転実弾演習。しかし、「沖縄県民の痛み」は解消されるどころか様々に強まり、全国に「痛み」と「危険」が拡散・拡大・深化させられてきているのが実態である。

近年の北富士演習場においては、二〇一八年九月、使用協定にはない英国軍との共同訓練が実施されて以降、同年一〇月、翌年四月と、沖縄駐留米軍との実弾演習が行われた。そして本年二月、本演習場を利用しての沖縄駐留米軍の移転演習を行い、そのわずか二カ月後に一八回目の演習を実施することは、これまで演習場を抱えてきた地域住民の思いを無視していることに外ならない。しかも、前回の演習では四回の火災を発生させ、県民の不安と怒り助長させている。何より、演習場の県是である『全面返還・平和利用』そのための『段階的縮小』を明らかに踏みにじり、形骸化を進めるものである。

これまで演習で行なわれてきた夜間野営訓練、NBC（核・生物・化学兵器）訓練、そして、有事法制定以前から先取りし、行なわれてきた自衛隊と民間輸送機関の動員、地元住民の立入り日を変更してまでの連続演習、さらに米軍車両が一般道を使い砲台を運搬し、挙げ句の果てには火災を発生させるなど、回を重ねるごとに規模や内容が拡大され、危険な戦争訓練となつてきている事は明らかである。

「平和の象徴」とも言われる世界文化遺産の富士山。その裾野で繰り返されるこのような実弾演習は、「平和」とは遠くかけ離れ、富士の麓を訪れる観光客にも大きな不安を与えるものとなり得る。

我々、山梨護憲の集い実行委員会は、沖縄新基地建設や環境破壊の高江へりパッド建設に反対し、勤労者や国民の平和と民主主義、そして、国民生活の再建を進める立場からも、沖縄駐留米軍による危険な戦争訓練である、北富士移転演習に強く反対し、抗議するものである。

二〇二二年 四月 一九日

防衛省南関東防衛局 局長 小波 功 様

山梨護憲の集い実行委員会

代表委員

山 田

厚

代表委員

手 塚

仁